

市民福祉意識調査及び各種実態調査の実施について

1. 目的

市民の生活実態や健康状態、福祉政策等に関する考え方や介護保険事業所の利用状況等を把握し、計画策定の基礎資料とするため

2. 調査の種類

○市民福祉意識調査（地域福祉関連）

| | 一般市民調査 | 小学生調査 | 中学生調査 |
|---------------|-------------------------|--------------------------|-------------------------|
| 調査対象者 | 15歳(中学卒業)以上 64歳以下の市民 | 小学5年生 | 中学2年生 |
| 設 問 | 36問 | 16問 | 16問 |
| 調査方法 | 紙・WEB | WEB | WEB |
| 調 査 数 | 3,000件 | 1,346件 | 1,379件 |
| 【参 考】 対象者数 | 94,045人 【R4.10時点】 | 1,346人(全16校) 【R4.5時点】 | 1,379人(全9校) 【R4.5時点】 |

○高齢者保健福祉に関する実態調査（高齢者福祉関連）

| | 一般高齢者実態調査 | 介護保険認定者実態調査 | 介護保険事業所実態調査 |
|---------------|--------------------------|-----------------------|-------------------|
| 調査対象者 | 要介護認定を受けていない 65歳以上の市民 | 要介護（支援）認定を 受けている市民 | 市内 介護保険サービス事業者 |
| 設 問 | 77問 | 51問 | 10問程度 |
| 調査方法 | 紙・WEB | 紙・WEB | 紙 |
| 調 査 数 | 2,000件 | 1,000件 | 100件 |
| 【参 考】 対象者数 | 38,025人 【R4.9時点】 | 5,307人 【R4.9時点】 | — |

○在宅介護者実態調査

| | 在宅介護者調査 |
|-------|---------------------|
| 調査対象者 | 在宅介護者 |
| 設 問 | 20問程度 |
| 調査方法 | 紙 ※介護認定調査（更新）時に訪宅調査 |
| 調 査 数 | 600件 |

※前回調査からの主な変更点

- ・ 2015年実施の「市民福祉意識調査」の一般市民調査の対象は18歳以上であり、中学校卒業から18歳になるまでの世代の意見聴取の機会がなかった。そのため、今回の調査は15歳（中学校卒業）以上を対象とした。
- ・ 従来、別々に実施していた「市民福祉意識調査」と「高齢者保健福祉に関する実態調査」の類似項目の削除や世代・社会環境に応じた項目の設定のため、内容と対象者を整理。市民福祉意識調査は小学生、中学生、中学卒業～64歳を対象とし、65歳以上に対しては「高齢者福祉に関する実態調査」の中に、ボランティア・地域との繋がりなどの地域福祉に関連する項目を導入している。

3. 調査時期

令和5年1月～2月頃